



九州旅客鉄道労働組合

No. 457 (2019.9.19)

福岡市博多区博多駅前2丁目3-23

TEL 092-472-7950(代)

URL http://www.jr-krwu.org

発行人/中原博徳 編集人/吉田春菜

LINE@



青年・女性委員会

第28回定期委員会

青年・女性委員会は、8月24日、福岡市内で第28回定期委員会を開催した。委員会には常任委員会、委員会委員、来賓等、総勢約70名が出席、議長団には高良委員(大分地本)、小松委員(長崎地本)を選出した。



委員長挨拶を行う杉本氏

常任委員会を代表して挨拶した杉本委員は、冒頭、安全への取り組みについて所信を述べるとともに、青年・女性委員会の組織について「労働組合についてしっかりと学び、交流を深めながら、青年・女性組合員としての横の繋がりと強い絆をつくっていく」と、青・女組織のさらなる活性化を呼びかけた。

来賓には、JR連合青年・女性委員会から新倉議長、鈴木事務長、JR九州労組中央本部から中原中央執行委員長、交運共済九州事業本部から登係長が出席し、それぞれ激励と連帯の挨拶を受けた。

議事では、2018年度活動報告、2019年度活動方針(案)等の提起後、出席した委員から「青年・女性組合員への教育活動のあり方」「分会の青年・女性委員会の活性化」「各種発表会の見直し」「職場の

諸課題」等、多くの意見が出され、常任委員会からの答弁、矢野事務長による集約答弁を経て、すべての議案が満場一致で採択された。

役員改選では、杉本委員長(大分地本)をはじめとする17名の新役員体制を確立。新たな時代を切り拓く、大きな一歩を踏み出した。



矢野事務長による集約答弁



新体制の執行部と参加者全員での団結ガンパロー

Table with 5 columns: 役職, 氏名, 年齢, 地本・支部. Lists committee members and staff from various branches.

各地方本部・支部が定期大会を開催

7月に開催したJR九州労組第28回定期大会を受け、各地方本部・支部でも8月中に定期大会が開催された。今回の大会では、全ての地本・支部において役員が改選され、多くの地本・支部において、役員の出陣がJ R採用者となるなど、世代交代が目に見えて進んだ大会となった。鹿児島地方本部においては、初の女性の執行副委員長が誕生した。

北九州支部

北九州支部は、8月31日に北九州市内で第5回定期大会を開催した。

西執行委員長は、安全最優先の風土づくり、組織強化・拡大の取り組み、次世代役員・活動家の育成等、



北九州支部 定期大会(8月31日)

重要課題に対する決意を述べるとともに、目前に迫っている若田町議会議員選挙において、組織内準公認候補として6期目の挑戦を予定している「井上修」の必勝に向けて、北九州支部が一丸となって活動に取り組むよう要請した。

小倉工場支部

小倉工場支部は、8月21日に北九州市「金田倶楽部」において、第5回定期大会を開催した。

高崎執行委員長は、今年度実施された検査業務の一部業務移管に対して、組合

として検証活動を引き続き行っていくとし、一人一人が組合と関わりを持って運動を盛り上げていくと挨拶した。

質疑では、「高齢者の労働条件」「職場の諸課題について」「働きやすい制度の構築」について発言があった。内尾書記長の集約答弁では、小倉工場支部の良いところを、引き出していく活力ある支部を目指して行こうと締め括られた。



小倉工場支部 定期大会(8月2日)

筑豊支部

筑豊支部は、8月31日に直方市「ユメニティのおがた」において第5回定期大会を開催した。

阿萬執行委員長は、冒頭で自然災害の復旧や4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙における組合員の奮闘と協力に敬意を表した上で、「安全」について、現場から積極的に声を発信で

きる環境づくりの必要性を訴えるとともに、「組織の強化・拡大」について、労働運動の原点に立ち返り、世話役活動を通じた分会活動の活性化に取り組む決意を述べた。

質疑では、「組織強化の取組み」「支部運営のあり方」「65歳以降の勤務制度」「動力車乗務員行路作成の一部見直し」「再雇用社員への世話役活動」「多客期間手当の新設」等の発言があった。



筑豊支部 定期大会(8月31日)

博多支部

博多支部は、8月25日に福岡市「オリエンタルホテル福岡」において第5回定期大会を開催した。

石田執行委員長より「安全最優先の風土づくり」「組織強化の取り組み」「次世代育成」の3点について挨拶があり、特に次世代育成については急務の課題であり、自ら勉強し、自ら経験を積んでいくことの大切さと、そのような人材を育成する風土づくりの重要性に触れた。また、2018年度最優秀分会に選ばれた運

行管理分会と博多新幹線乗務所分会を例に挙げ、分会活動の活性化は組合員相互の情報共有のためにも必要であると述べた。

質疑では、「ワンマン列車の全車扱いについて」「育休明けの女性社員への対応について」「嘱託再雇用者の対応について」「新幹線駅のホーム要員について」「社宅の入居条件について」「東京指令の指令員の帰省費の補助増額について」「見習い解除試験不合格者への早急な対応について」等の発言があった。



博多支部 定期大会(8月25日)

**本社支部**

本部本社支部は、8月30日に福岡市「JR九州労組中央本部会議室」において第5回定期大会を開催した。三嶋執行委員長は「安全の確立に向けた取り組み」「組織の活性化と役員育成」「世話役活動の充実」の3点について今後の課題を含めて挨拶を行い、本社の組合員だからこそ出来る発想と行動で、チームワークを活かした組合活動をしていこうと締め括った。

来賓挨拶では中央本部の中原中央執行委員長から挨拶があり、この1年間本社支部が行ってきた選挙への取り組みやレク・ボランテニア等の活動の評価と感謝の言葉が述べられた。また、JR九州労組第28回定期大会で本社支部から出された発言に対しても、今後の課題としてしっかり取り組んでいくとした。



本社支部 定期大会(8月30日)

**佐賀支部**

佐賀支部は、8月24日に佐賀市「アパホテル」において第5回定期大会を開催した。

森永執行委員長は、JR九州が成長していくためには、「人材」への投資が必要不可欠であることを訴えるとともに、「安全の確立」「組織強化の取り組み」「労働条件向上の取り組み」「政策課題の解決に向けた取り組み」について触れ、九州新幹線西九州ルートの問題解決に向けて労使共通の課題として労働組合としてやるべきことをしっかりと果たしていくと提起した。また、今大会の役員改選

では、副委員長2名体制となり、磐石な新執行部が誕生した事を会場全体の拍手で確認し、春野書記長から「信頼・団結・前進」のローガンの下に佐賀支部も新たな時代に挑戦していくことの提起があった。



佐賀支部定期大会(8月24日)

**長崎地方本部**

長崎地方本部は、8月3日に長崎市「セントヒル長崎」において第28回定期大会を開催した。

久木崎執行委員長の挨拶では「政治の重要性」「長崎・浦上間の高架化」「九州新幹線西九州ルート」「長崎トンネル事故(安全強化)」「女性の役員育成」「若手組合員の育成」「労働時間管理」「分会活動の活性化」について課題の提起があった。質疑では、「青年・女性委員会における女性の年齢について」「分会の組織見直し」「早岐駅長への寮長手当の新設」「都市手当の見直し」「寮の設備環境」「ベースアップ」「分会三役への勉強会の実施」「業務内容改善」「特殊な運転免

許証の取得」「空調服の導入時期」「若手組合員の育成」「セミナーの開催地の変更」「助勤の見直し」「新幹線開業後の肥前山口・諫早間の処理」等について、多数の課題が示された。



長崎地方本部 定期大会(8月3日)

**大分地方本部**

大分地方本部は、8月10日に大分市「全労済ソレイユ」において第32回定期大会を開催した。

佐藤執行委員長の挨拶では、第25回参議院議員選挙の御礼と、「安全」「組織」「労働条件向上」「政策」4点の課題についての提起があった。特に「組織」については、今大会の代議員・特別代議員の9割が40代以下であることに触れ、世代交代が目に見えて進んでいる今、労働組合の存在意義について改めて意識を高めてもらいたいと要請があり、また、若年層の組合員に対して「労働組合の必要性」を理解してもらおうためにも、今後重要な課題の1つであると強調した。質疑では、「高年齢者の

賃金の改善」「都市手当の見直し」「4両ワンマンの安全とサービス対策」「実態に見合った列車本数の見直し」「駅掲示のモニター化」「SAS検査の労働時間化」「動力車乗務員への多車種手当」「機関車操縦手当の新設」「女性乗務員の設備の早急な整備」「乗務員の車内での保安対策」「駅の要員不足」「働き方改革に伴う副業に対する組合の考え方について」等の発言があった。



大分地方本部 定期大会(8月10日)

**熊本地方本部**

熊本地方本部は、8月3日に熊本市「ネストホテル熊本」において第28回定期大会を開催した。

濱田執行委員長は、挨拶の中で熊本県内の動向に触れるとともに、「安全の確立」「組織強化と分会の活性化」「交通・労働政策の実現」「労働条件向上と働きがいのある職場づくり」について取り組み課題を提起した。質疑では、「三角駅引き上げ線の出区点検」「地域社員への住宅援助金」「組

織強化への取り組み」「815系車側カメラの設置」「適正な人員配置」「生産性を増やす効率化施策」「旅行本部の見直し」「高齢者部会の設立等の課題」が提示され、活発な議論が行われた。

吉田書記長の集約答弁では、「未曾有の災害を受け、これらを経験し乗り越えてきた組合員の方々は、その経験等を後世に受け継いでいかなければならない。また、安全の確保をはじめ、様々な課題が山積しているが、One for all, All for one. の精神で共に支えあい、共に頑張っていこう」と要請した。



熊本地方本部 定期大会(8月3日)

**鹿児島地方本部**

鹿児島地方本部は、8月4日に鹿児島市「ジェイドガーデンパレス」において第28回定期大会を開催した。

江口執行委員長は、冒頭で自然災害の復旧や4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙等での組合員の奮闘と協力を敬意を表した。挨拶では、「安全」について、現場組合員が絶えず安全を

意識し積極的に声を発信できる環境を創り上げていくことの必要性を訴え、「組織の強化・拡大」について労働組合の原点に返り一致団結して運動を進めて行く必要性と、世話役活動を通じた顔の見える運動に取り組む決意と協力を要請した。また、「労働条件の向上」について、チャレンジ2023の具現化に向けた取り組みの推進と、65歳以上の働き方については会社との協議を進めていくよう中央本部へ要請した。

質疑では、「特急4両ワンマンの問題点と検証」「高年齢者の労働条件」「モニター制度や帰省パスの見直し」「手当の新設や増額」「組合費と予算の考え方」「地域社員の福利厚生」「増収活動や換算率の見直し」「要員等の効率化施策の対応」「妊娠、出産後の働き方」等多くの課題について発言があった。



鹿児島地方本部 定期大会(8月4日)

**第一次総対話集会を開催します!!**

中央本部は10月1日から下記のスケジュールで、第一次総対話集会を開催します。職場の声を今後のJR九州労組の運動に反映させるためにも、組合員の皆さんの総対話集会への参加を要請します。

北九州支部	10月1日~22日	佐賀支部	10月21日~29日
小倉工場支部	10月1日~2日	長崎地方本部	10月24日~30日
筑豊支部	10月1日~4日	大分地方本部	10月8日~11日
博多支部	10月7日~24日	熊本地方本部	10月7日~11日
本社支部	10月2日~18日	鹿児島地方本部	10月24日~31日

詳細は各地方本部・支部にお尋ねください。